

平成23年度に四條畷学園大学附属幼稚園において実施致しました学校評価（自己評価）の結果について以下の通り報告致します。

■ 学校評価の実施方法

- A) 実施時期 平成23年11月
- B) 調査対象 幼稚園の教職員全員
- C) 評価項目 保育活動全般および園に対する全体的評価を行いました。
- D) 評価方法 各項目について5段階評価を行いました。記載の評点は平均点です。

5：そう思う。

4：どちらかといえば、そう思う。

3：どちらとも言えない。（または、よくわからない。）

2：あまり思わない。

1：思わない。

■ 評価の視点

□「私たちの信念」

できない子はいません すべての子どもができます

□「私たちの視点」（教育目的）

自分の力で人生を切り開き、社会のために尽す子どもを育成します

□「卒園時の子どもの姿」（教育目標）

1. 健康な子どもに育てます（体の力）

2. 自ら考え行動する子どもを育てます（学ぶ力）

3. 思いやりと優しさのある子どもに育てます（心の力）

■ 本年度に定めた重点目標に対して教職員が学校評価の評価項目を十分理解し、評価項目に沿って、自己点検、自己評価を実施することにより教職員自ら教育内容の一層の改善に結び付けていくことが大きな着眼点であります。

【重点取り組み事項】

- A) 各学年（年長・年中・年少）別に定めた「年間目標」にすべての園児が到達できるよう教職員は各園児にあった環境を与えるべく最善の努力を尽くします。
- B) 上記Aのため、教職員は担任をしているクラスの園児だけでなく、各学年、全学年の園児を対象にすべての園児ができるよう学年主任を中心に相互理解を深めるべくチームとして取り組んでいます。
- C) 保護者と幼稚園とのコミュニケーションを良好にし、子どもの成長のために家庭と幼稚園が協力して取り組める環境を作ります。

✚ 概評

教職員による自己評価は、ともすれば保護者の方による学校評価との差異が生じる事があります。その点に於いて幼稚園の一つの課題が浮かび上がってくるかもしれません。保護者の方の希望を出来る限り取り入れながら保育の本質だけは子ども達のために大切にしたいものです。両者の認識に差があるものについてはその原因を追求し出来る限り対策を取る努力はしたいものです。

今後、保護者の方の協力も得ながら解決策を検討していきたいと思います。

【両者の認識に差があるもの】

4. 幼稚園の環境・設備は良いと思う
8. 子ども達への安全確保に注意が払われていると思う
9. 課外教室は満足していると思う

【両者の認識にそれほど差がないもの】

1. 幼稚園に入園して良かったと思いますか
2. 先生は相談しやすいと思う
3. 子ども達は先生に親しみを持っていると思う

アンケートの集計結果とコメント

教職員への質問項目と集計結果は以下の通りです。記載の評点は平均点です。

番号	質問 (①保護者 ②教職員)	評点		(a)－(b)
		保護者(a)	教職員(b)	
1	① 幼稚園に入園して良かったと思いますか ② 幼稚園に勤務して良かったと思う	4. 8	5	-0.2

■教職員、保護者の方ともに高い評価でした。質問は若干異なりますが総体としては良い幼稚園であると評価いただいていると考えています。今後もより良い幼稚園を目指して、教職員一同、切磋琢磨し一所懸命努力していきます。

番号	質問 (①保護者 ②教職員)	評点		(a)－(b)
		保護者(a)	教職員(b)	
2	① 先生は相談しやすいと思う ② 保護者と信頼関係が出来相談されることがある	4. 5	4. 3	0.2

■教職員と保護者の方で認識にそれほど相違はないのではないかと思います。今後も保護者とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思います。

番号	質問 (①保護者 ②教職員)	評点		(a)－(b)
		保護者(a)	教職員(b)	
3	① 子ども達は先生に親しみを持っていると思う ② 先生は子ども達との信頼関係は、良いと思う	4. 7	4. 8	-0.1

■教職員と保護者の方で認識に相違はありませんと考えています。

番号	質問 (①保護者 ②教職員)	評点		(a)－(b)
		保護者(a)	教職員(b)	
4	① 幼稚園の環境・施設・設備は良いと思う ② 幼稚園の環境・施設・設備は良いと思う	4. 3	3. 6	0.7

■教職員は老朽化等により設備が十分ではないとの認識です。優先順位として今は設備よりも教材、職員の能力向上に力点を置くことが必要であることもよく分かっています。その結果が低い評価となっていますが、保護者の方は保育の本質をよく理解していただいているため保育上それほど設備等を重視していないのだと思います。

番号	質問 (①保護者 ②教職員)	評点		(a)－(b)
		保護者(a)	教職員(b)	
5	① 子ども達は、幼稚園でマナーを身につけてきていると思う ② 子ども達は、マナーを身につけてきていると思う	4. 3	4. 6	-0.3

■教職員は一生懸命指導しているため「できている」と思っていますが、保護者の方は十分でないと考えているようです。この生活の基本については幼稚園と家庭両方が取り組まなければならないことだと思います。幼稚園の時にできていないと大人になったときに本人が非常に困ることになります。保護者の方との連絡を密にし、問題の本質を確認し改善していきたいと思います。

番号	質問 (①保護者 ②教職員)	評点		(a)－(b)
		保護者(a)	教職員(b)	
6	① 保育内容は充実していると思う ② 保育内容は充実していると思う	4. 5	5. 0	-0.5

■保護者の方の評価に比べ教職員の評価が高くなっています。この数字だけ見ましたらこの差異は自己満足とも取れる水準だと思います。しかし一方で教職員は日々の保育に本気で真剣にとても一所懸命取り組んでいます。できない子をどうしたらできるようになるのか日々考えています。ステップアップ会議を開いてみんなで考え、協力し、そして適切な対策を取るようにしていきます。

番号	質問 (①保護者 ②教職員)	評点		(a)－(b)
		保護者(a)	教職員(b)	
7	① 子ども達の参加する行事は満足していると思う ② 行事について子ども達は満足していると思う	4. 5	5. 0	-0.5

■親子で参加したい保護者が増えつつあるのではないかと思う。その結果、保護者と職員の認識の差が出たと考えています。しかし、職業をお持ちの保護者の方もいるので、双方が満足できるようにご意見を伺いながら行事の内容や開催方法を考えます。

番号	質問 (①保護者 ②教職員)	評点		(a)－(b)
		保護者(a)	教職員(b)	
8	① 子ども達への安全確保に注意が払われていると思う ② 子ども達への安全確保に注意が払われていると思う	4. 3	4. 8	-0.5

■保護者来園時については、特に保護者証明証の提示を徹底していき、保護者における安全確保の認識の向上にも努め、協力と理解を得る様にしていきます。外部来園者については、警備の徹底など適切な対策を取っていきます。

番号	質　　問　(①保護者　②教職員)	評　点		(a)－(b)
		保護者(a)	教職員(b)	
9	① 課外教室は満足していると思う ② 課外教室は満足していると思う	4. 3	4. 9	-0.6

■課外教室は豊富で充実していると考えられるので教職員の評価は高い評価になっている、しかし、保護者は教室の希望する時間帯に集中し人数枠がないので低い評価となっていると考えられる。出来るかぎり対策を検討していきます。

番号	質　　問　(①保護者　②教職員)	評　点		(a)－(b)
		保護者(a)	教職員(b)	
10	① 早朝預かり・預かり保育は便利だと思う ② 早朝預かり・預かり保育は便利だと思う	4. 7	5. 0	-0.3

■教職員の評価が保護者の方よりも高くなっていますが、認識に大きな差はなく、預かり保育は便利だと評価していただいているものと考えます。今後も継続していきます。

◆ 学校関係者評価委員会（＊）の意見

質問1の通り、当幼稚園に対する満足度は非常に高く、学校評価についても園の評価と保護者との認識に差異はないとの意見をいただきました。また、23年度から2か月に一度実施している全保護者から保育等に対する意見をいただいている取り組みについても合わせて高く評価いただきました。

（＊）学校関係者評価委員会

当幼稚園の保護者5名により構成されています。